学校番号	319

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校 新地理総合（帝国書院）						
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE 2026（帝国書院） 標準高等地図(帝国書院)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では，世界各地の生活文化の特色や現代世界が抱える諸課題を学ぶことで異文化理解につなげていきます。その課題に対して，自ら考え，周りの人と協働で考える活動を行います。
・地図と地理情報システムの活用や写真や図表などを通して，地理的な見方・考え方を働かせた学習を行います。また「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で，自分の考えを発表したり，議論したりする活動を行います。
・家庭学習における課題は，定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・授業プリントについては板書を書き写すだけでは，評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などを記入していきましょう。

２　学習の到達目標

グローバル化が進み，国際理解の必要性が増している現代において，地理的な見方・考え方を働かせ，地理的活動を通して，地理的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

1. 写真や図表と因果関係がわかる文章を通して，多面的・多角的に考察し,地理的な見方・考え方を働かせた学習ができる。
2. グローバル化や情報化，少子高齢化など，急激な社会の変化を地理的な視点でとらえながら，平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力をつけ、世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などの理解を深めることができる。
3. 世界各地の生活文化の特色や現代世界が抱える諸課題を学ぶことで異文化理解につなげ，考察，構想したことを説明したり，議論したりすることができ，主体的に社会の形成に参画する態度が身につけることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の諸課題とつながっていることを理解している。 ・地図や地理資料に基づいて世界の諸課題や異文化について理解している。	・近代化，国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの変化と，日本や日本周辺の地域及び世界の諸課題との関連性について考察し，表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。	・中学校社会科における学習の成果を生かし，必履修科目である「地理総合」を学ぶ意義や目的，地理的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。
上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめる。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価する。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	地図と地理情報システム	・地球上の位置と時差 ・地図の役割と種類	a:　日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に，地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。現代世界のさまざまな地理情報について，地図や地理情報システムなどを用いて，その情報を収集し，読み取り，まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 b:　地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:　地図や地理情報システムについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

	結び付きを深める現代世界	・現代世界の国家と領域 ・グローバル化する世界	a: 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きについて理解している。 b: 現代世界の地域構成について，位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 現代世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
	生活文化の多様性と国際理解	・世界の地形と人々の生活 ・世界の気候と人々の生活 ・世界の言語・宗教と人々の生活 ・歴史的背景と人々の生活 ・世界の産業と人々の生活	a: 世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 b: 世界の人々の生活文化について，その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

後期	地球的課題と国際協力	・複雑に絡み合う地球的課題 ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・人口問題 ・食料問題 ・都市・居住問題	a：①世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 b：世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：地球的課題と国際協力について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

	持続可能な地域づくりと私たち	・日本の自然環境 ・地震・津波と防災 ・火山災害と防災 ・気象災害と防災 ・自然災害への備え	a：①我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に，地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について，その情報を収集し，読み取り，まとめる地理的技能を身に付けている。 b：地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：自然環境と防災について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート 発表活動

	生活圏の調査と地域の展望	・地理的な課題と地域調査 ・現地調査の準備 ・現地調査の実施 ・調査の分析と発表	a: 生活圏の調査を基に，地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 b: 生活圏の地理的な課題について，生活圏内や生活圏外との結び付き，地域の成り立ちや変容，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c: 生活圏の調査と地域の展望について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度